

平成20年度第1回宮崎県放課後子どもプラン推進委員会議事録

1 開催日時：平成20年5月28日（水）14時00分から16時30分まで

2 会 場：宮崎市立櫛小学校（多目的教室）

3 出席者：委員10名（3名欠席）

4 概 要

(1) 説明及び質疑

ア 「放課後子どもプラン推進事業」について

- 説明の中で、スタッフの人材確保が難しい現状もあると言われたが、実際のそれぞれの地域での現状はどうなんだろうか。例えば、地域により差があると思う。事業に対する啓発が不十分な面があり、広報活動が必要ではないか。
- 地域の方の協力が必要な事業であるが、住民へのボランティア参加の呼びかけは、学校内の呼びかけだけでは不十分であると思う。
- 早めの住民への周知が必要である。既に自治会や老人クラブ等において、啓発している地区もある。
- 宮崎市赤江地区では、放課後子ども教室や放課後児童クラブを大変分かりやすく説明してある公民館だよりが3月に配布されていた。
- 平成19年度にスタートした本事業は当初どのように運営していくのか大変困った。学校への啓発もできていない面もあり、ボランティアも少ない現状があった。行政との連携がうまくいかなかった面があったと思う。
- この事業は、安全面への配慮がとても大切であり、せつかくの子どものためのいい事業も事故があると意味がなくなってしまう。
- 安全管理面は特に必要であり、ボランティアスタッフは最低5名は必要であると思っている。



(2) 協議「本県の放課後対策の在り方について」

ア 本県は、全国的に見て事業の実施数が少ないが、この要因をどのようにとらえるか。

○ 延岡市では、放課後児童クラブは年次的に増設する方向で取組んでいるが、法人立の保育所でも、ほとんど自主事業として学童保育を実施している。

放課後子ども教室については、今年度3校において実施することになったが、各学校での取組は一律ではない。

市として放課後子どもプランをこれからどのように進めていくか等については、これからの議論であると考えている。

○ なぜ、活動拠点を学校に設置しようとするのか疑問である。「子どもの放課後対策は、児童館だ。」と思っている。学校では教師に負荷が掛かるし、拠点を柔軟に考えた方がよいと考えている。

○ 地域によっては、施設があるなしの環境面での違いがある。公民館でもいいが、安全で使いやすいのは学校だと思う。

○ 綾町、児童館で実施している。恵まれた環境にあると思う。内容は、英会話を中心に行っている。他の自治体からも視察に来られた。

○ 保護者は、ボランティアに任せっきりになっている面もある。この事業を通して、親の在り方も見直すこともできると思う。

○ それぞれの教室には、様々なパターンがあり、宿題をさせるところ、遊びをさせるところ様々である。しかし、安全管理面は実施主体の力量によるところであり、意識に温度差があるのではないか。

イ 小規模学校が多い山間部での市町村の取組と県としての支援はどうあるべきか。

○ ニーズとしてあるかないかであるが、必要だと声があがった時に、いくつかの体制としてのモデルを準備しておけばいいのではないか。

○ 充足率を上げるのではなく、需要を下げるという考え方もある。「宮崎には教室がなくても、安心して健やかに過ごせる場所がある」というのが一番いいという考えもある。昔を考えるとそうであり、昔の環境を復活させることも一つの考えとしてあってもいいのではないか。

○ やはり現実をみると昔と今ではずいぶんと保護者や子どもの置かれた環境は違う。どう安全に子どもたちを育てるか時勢に合わせていくことが課題である。



「放課後児童クラブ」の様子



「放課後子ども教室」の様子